

## 巣立ちの前

校長 土居 正 明

育友会会員の皆様方には、日頃より本校教育に対しまして御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

4月1日の夜桜コンサートに感激して以来、早3ヶ月がたちました。廊下に響く先生方の授業の声、昼休みにあちこちで集まってランチを広げる姿、部活動で響く大きなかけ声や楽器の音など、高校生活を謳歌する舞台としての学舎を見ることができます。生徒たちは、それぞれに悩みもありながら、かけがえのない仲間とともに次第に成長しています。入学時と卒業時を比べるとその成長は歴然としています。卒業式で成長した生徒たちを送り出すことが、高校の教員としての一番の希望であると思っています。

乳幼児期から10数年、成長を見守ってこられた保護者の皆様方には、一瞬の3年間かもしれないませんが、親から飛び立つ前の大切な3年間です。先人の言葉を記しながら、保護者の皆様とともに、お子様の成長を願い叱咤激励していきたいと思っております。

乳児はしっかり肌を離すな          幼児は肌を離せ 手を離すな  
少年は手を離せ 目を離すな          青年は目を離せ 心を離すな

緒方甫『子育て四訓』

「私は君たちに精神の三つの変化を告げよう。すなわち、精神がラクダになり、ラクダが獅子になり、最後に獅子が幼子になる有様を。」

ニーチェ『ツァラトゥストラはかく語りき』

(ラクダは、自ら求めて重きを担い、そして力を蓄える。獅子は正しいことに素直になれずウオーって歯向かう象徴。幼子は無垢にわくわくすることに全力で進んでいく理想の姿(超人)を指します。)

なんだか、恩師から教えていただいた「守・破・離」の教えと、どこか通じるものがあると感じる次第です。